

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策

①FD体制の整備充実

《人社系》

●北海道教育大学教育学研究科学校臨床心理専攻

「現職教員の高度実践構想力開発プログラム」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

プログラム実施、最終年度に専攻の大学教員を対象にFD勉強会を開催しましたが、参加者が限られ、専攻内にFD体制の整備を図っていくことが困難でした。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

プログラム実施担当者である大学教員の実働メンバーが限られ、多忙な大学教員間でプログラム関与に差異があり、プログラムの取組を通したFD活動への意識が薄かったためと考えます。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

広報の形態を工夫したり、繰り返しましたが、参加者を増やすことに結び付けることができませんでした。当初から大学全体のFD体制と緊密な連携を図って実施していれば、望ましい結果が得られたものと考えます。